

他にも問題視される各チームスタッフの行動や発言としては、

あるチームの保護者が、関係者以外進入禁止のビッグスワン正面入り口に車で乗り付けていた。
また1日目の金屋においても、あるチームのスタッフが、スポンサー用テント前を横切ろうとした選手に向かって“怒られるからそこを通るな”と言っていた等…

試合をするだけ、試合に勝つためだけに活動をしているのでしょうか。

対戦しているチーム、大会を企画いただいている方々、運営していただいている方々、会場を貸していただいている方々等いろいろな人たちが係っていただいている事を、保護者が理解していない事象は、各チームスタッフにも自覚や理解もされていないと言わざるを得ません。

県内148チームの中の一部のチームの行動が、全チーム同じように思われても仕方ありません。

そのような一部のチームスタッフに、技術部よりゴミ拾いやマナーの技術の習得、また審判部より言葉使い方やリスペクトしているか否かの裁き等をしていただく様にしなければならないのでしょうか。

指導者資格や審判資格所得の際に講義としてもあったと思います。

ただ取得しただけでなく、資格証を持参し提示する事はどういう事か、もう一度見直して頂きたい。

上記も踏まえて、各チームにて代表者からチーム、保護者にも周知徹底していただくようお願いいたします。

また、各大会における会場使用の注意事項は、各チームが責任をもって保護者に伝えて下さい。

(いろんな事を本部に聞きに来る保護者がいますが、チームスタッフは何をしていますか)

県大会においては役員が注意喚起できますが、各地区ブロック大会においては総務委員だけでなく、技術委員、審判委員も協力していただければと思います。

2月の総会の時にもお話をさせていただきましたが、4種役員が主ではなく、選手が主役であり、それを支えているのが各チームのスタッフ、保護者だと思います。

選手の身近にいるスタッフ、保護者がそのような姿を見せていれば、すばらしいサッカー選手になりますか？すべては新潟県のサッカーファミリーの為に